



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 オリエンタルチエン工業株式会社

コード番号 6380 URL <http://www.ocm.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 西村 武

問合せ先責任者 (役職名) 管理部マネージャー

(氏名) 金谷 武志

TEL 076-276-1155

四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	840	7.2	15	△52.0	13	△54.1	9	△65.0
26年3月期第1四半期	784	0.0	32	313.3	30	923.1	26	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	0.63	—
26年3月期第1四半期	1.80	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
27年3月期第1四半期	3,462		992		28.7	67.84
26年3月期	3,498		970		27.7	66.35

(参考)自己資本 27年3月期第1四半期 992百万円 26年3月期 970百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,604	△0.4	58	△31.8	48	△39.0	41	△36.1	2.93
通期	3,209	△0.6	96	7.1	75	1.4	62	7.3	4.30

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	14,672,333 株	26年3月期	14,672,333 株
27年3月期1Q	46,604 株	26年3月期	46,304 株
27年3月期1Q	14,625,879 株	26年3月期1Q	14,628,205 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、財務諸表に対する監査手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1 四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による金融緩和策などの経済政策により、円安や株価の上昇など緩やかな景気回復基調にあるとみられました。しかしながら、原油価格の上昇、輸入原材料の価格上昇等や新興国の景気減速など海外経済に対する不安感もあり、先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

このような状況下において当社は、顧客の多様なニーズへの対応力を高め、受注拡大に向けての製品の差別化や、工場の生産性を高める取り組みを継続してまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高は840百万円（前年同四半期比7.2%増）となり、営業利益15百万円（前年同四半期比52.0%減）、経常利益13百万円（前年同四半期比54.1%減）、四半期純利益9百万円（前年同四半期比65.0%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①チェーン事業

国内では、工作機械業界、運搬機械業界や搬送機械業界向けが好調に推移しましたが、繊維機械業界向けが減少しました。一方、輸出においては、北米向けや東南アジア向けが大きく増加しました。これらの結果、売上高は776百万円（前年同四半期比13.7%増）、営業利益は48百万円（前年同四半期比7.8%増）となりました。

②金属射出成形事業

モデルチェンジにより自動車用部品の売上が大きく減少しました。その結果、売上高は54百万円（前年同四半期比40.5%減）、営業利益は10百万円（前年同四半期比58.8%減）となりました。

③その他事業

その他事業の売上高は10百万円（前年同四半期は10百万円）、営業利益は7百万円（前年同四半期比1.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は3,462百万円で前期末に比べて35百万円減少しました。これは、前期末と比べ、売上債権が14百万円増加し、現金及び預金が26百万円、たな卸資産が12百万円、未収入金（流動資産その他）が7百万円減少したことを主要因として、流動資産が2,339百万円と33百万円減少したこと、また、投資有価証券が12百万円増加し、有形固定資産が12百万円減少したことを主要因として、固定資産が1,123百万円と2百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、2,470百万円で、前期末と比べ57百万円減少しました。これは、前期末に比べ未払費用（流動負債その他）が36百万円増加し、仕入債務が9百万円、短期借入金が11百万円、未払法人税等が5百万円、賞与引当金が16百万円減少したことを主要因として流動負債が1,584百万円と8百万円減少したこと、また退職給付引当金が3百万円増加し、社債が13百万円、長期借入金が38百万円減少したこと等により、固定負債が885百万円と49百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、992百万円で、前期末と比べ21百万円増加しました。主な要因は、四半期純利益9百万円の計上とその他有価証券評価差額金の増加12百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は28.7%になりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期第2四半期累計期間及び平成27年3月期通期の業績予想につきましては、平成26年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	473,961	447,583
受取手形	688,671	722,859
売掛金	461,471	441,734
有価証券	5,466	5,466
商品及び製品	201,803	190,778
仕掛品	309,991	310,165
原材料及び貯蔵品	201,684	200,511
その他	32,105	22,648
貸倒引当金	△2,120	△2,130
流動資産合計	2,373,035	2,339,618
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	205,204	201,792
機械及び装置（純額）	248,223	242,689
土地	242,887	242,887
建設仮勘定	82,151	79,291
その他（純額）	29,560	28,750
有形固定資産合計	808,026	795,412
無形固定資産	36,269	34,400
投資その他の資産		
投資有価証券	159,931	172,580
その他	122,042	121,667
貸倒引当金	△790	△790
投資その他の資産合計	281,183	293,457
固定資産合計	1,125,480	1,123,270
資産合計	3,498,516	3,462,888

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	505,728	507,276
買掛金	166,985	155,742
短期借入金	680,644	669,064
未払法人税等	12,096	6,180
賞与引当金	24,695	7,750
その他	202,748	238,838
流動負債合計	1,592,899	1,584,852
固定負債		
社債	134,200	120,900
長期借入金	517,288	479,077
退職給付引当金	207,312	210,819
役員退職慰労引当金	38,620	38,620
その他	37,732	36,466
固定負債合計	935,153	885,884
負債合計	2,528,052	2,470,736
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,066,950	1,066,950
資本剰余金	168,230	168,230
利益剰余金	△285,086	△275,843
自己株式	△4,815	△4,850
株主資本合計	945,278	954,486
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	25,185	37,344
繰延ヘッジ損益	-	321
評価・換算差額等合計	25,185	37,665
純資産合計	970,463	992,151
負債純資産合計	3,498,516	3,462,888

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	784,438	840,913
売上原価	633,454	697,173
売上総利益	150,983	143,740
販売費及び一般管理費	118,918	128,335
営業利益	32,064	15,404
営業外収益		
受取利息	26	33
受取配当金	2,192	2,397
保険解約返戻金	1,520	2,240
その他	3,336	978
営業外収益合計	7,075	5,650
営業外費用		
支払利息	6,925	5,209
売上割引	1,019	1,436
その他	733	424
営業外費用合計	8,679	7,069
経常利益	30,460	13,985
特別損失		
固定資産廃棄損	650	-
特別損失合計	650	-
税引前四半期純利益	29,810	13,985
法人税、住民税及び事業税	3,417	4,742
法人税等合計	3,417	4,742
四半期純利益	26,392	9,243

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益計 算書計上額 (注) 3
	チェーン事 業	金属射出 成形事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	682,512	91,806	774,319	10,119	784,438	—	784,438
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	682,512	91,806	774,319	10,119	784,438	—	784,438
セグメント利益	45,026	25,329	70,355	7,442	77,798	△45,733	32,064

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。
 2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに
 帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益計 算書計上額 (注) 3
	チェーン事 業	金属射出 成形事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	776,160	54,634	830,794	10,119	840,913	—	840,913
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	776,160	54,634	830,794	10,119	840,913	—	840,913
セグメント利益	48,521	10,443	58,964	7,549	66,513	△51,108	15,404

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。
 2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに
 帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。